



第3回 JFVSS 便り

第2期JFVSS奨学生が決定しました。

このたび第2期JFVSS奨学生が決定しました。これも当会を支えていただいているスポンサー、サポーターの皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。今回は“第2期奨学生への道”と題して、決定に至った道のりについてご説明いたします。第1期奨学生は内科専門医を目指すコースでしたので、第2期は外科専門医を目指すコースとしました。ご存じのように前年度も外科奨学生を募集しましたが、残念ながら我々が自信を持って送り出せる人材を見つけることができませんでした。審査終了後渡米しその報告をしましたが、コロラド大学（CSU）チームはその真意を十分に理解してくれ、今回自信を持って再度外科奨学生を募集することができました。

第2期生の選考について

今回の募集に対する第1回目の説明会は2014年9月12日に北海道大学で開催しました。しかし、参加者はわずか2名。若干不安な幕開けとなりました。続いて10月17日に東京大学で行った説明会には予想以上の参加者があり、情報がだんだん広がっていることが確認できました。12月1日から1か月間募集を行ったところ7名の応募があり、2015年1月16日に第1段階の申請書類による審査を行いました。この申請書類には英文で書かれた抱負や外科らしく手術のビデオも含まれており、これらたくさんの情報を理事全員で審査しました。今回の応募者は全員レベルが高く、TOEFLの基準点にも達していたことから全員合格とし、国内での試験と面接へと進んでもらうことにしました。2月28日に行われた国内1次試験では筆記試験と日本語および英語による面接を行いました。筆記試験は英語論文の和訳と見せかけて、途中で関連論文10報を追加し、思考能力をフルに問う問題としました。面接では専門医に懸けるスピリッツと英語能力を中心に評価を行いました。その結果上位3名に絞られましたが、試験後の討議でも甲乙つけがたくこの3名をCSUでの2次試験に送り出すことにしました。この段階では我々も誰が選ばれるのか全く予想がつきませんでした。

アメリカでの面接

CSUにおける面接は3月20日に行われました。私は前年にも訪問していましたが、懐かしい感じでしたが、3名の受験者は相当に緊張している様子が分かりました。午前中にCSUの主に動物病院を案内してもらい、ランチ後にいよいよ一人ずつ面接となりました。CSU側は外科チームのスタッフがほぼ全員来てくれていましたが、とにかくアットホームな感じなので受験生の緊張も少しは和らいだのではないかと思います。面接には理事の小林先生と共に私もオブザーバーとして同席させていただきました。オブザーバーですから何も発言することはないのですが、3人終わった時にはぐったり疲れ果てたことを覚えています。ところが面接が終わったあともCSUチームは、相当に悩んでいる様子。3人とも素晴らしく、我々同様甲乙つけがたいとのことでした。そこで異例の展開ではありますが、もう一度カジュアルな形で面接をやろうということになり夕方からビールを飲みながら再度集まることになりました。大学のあるフォートコリンズには数多くの小さな地ビール工場がたくさんあり、その中でビールが飲める場所がいくつもあります。金曜の夕方ということもあり、そこにはたくさんの方が来ておりビールを楽しんでいました。食べ物はなく何種類かの地ビールを次々に飲んで笑いながら大いに語り合う。まさにアメリカのライフスタイルでしょうか。そんな雰囲気の中で外科のレジデントや家族なども集まってアメリカ流面接が始まりました。受験生3名ともいろいろな人と大いに語り合っていました。今回合格しなかった人にとっても得難い経験になったと思います。

ここまでが我々が関与した第2期奨学生への道です。帰国後10日ほどして面接の結果がメールで送られてきました。CSUチームも最後まで相当悩んだとのこと。我々もやっと肩の荷が下りましたが、このプロジェクトは10年後、20年後の日本の獣医界を見据えた息の長いものです。すぐに成果が上がるようなものでもありません。これからも我々一同一致団結してコツコツと進んでいきたいと思えます。これからも皆様がたの熱きご支援を賜れば幸いです。

理事 西村亮平

お知らせ

8月30日（日）東京大学弥生講堂で、動物病院スポンサー、個人サポーターの方をご招待し、セミナーを開催いたします。企業の方には無料小ブース(テーブル) をご提供させていただきます。お申し込みはメールにてお願いします。

事務局：

公益財団法人 日本小動物医療センター附属 日本小動物がんセンター内
〒359-0003 埼玉県所沢市中富南2-27-4

メールアドレス：info@jfvss.jp ファックス：04-2943-8698

公式ウェブサイト：www.jfvss.jp